

油圧引張試験機

TI-150型

あと施工アンカー引張試験機

取扱説明書



適合サイズ

M45～M80

D41～D51



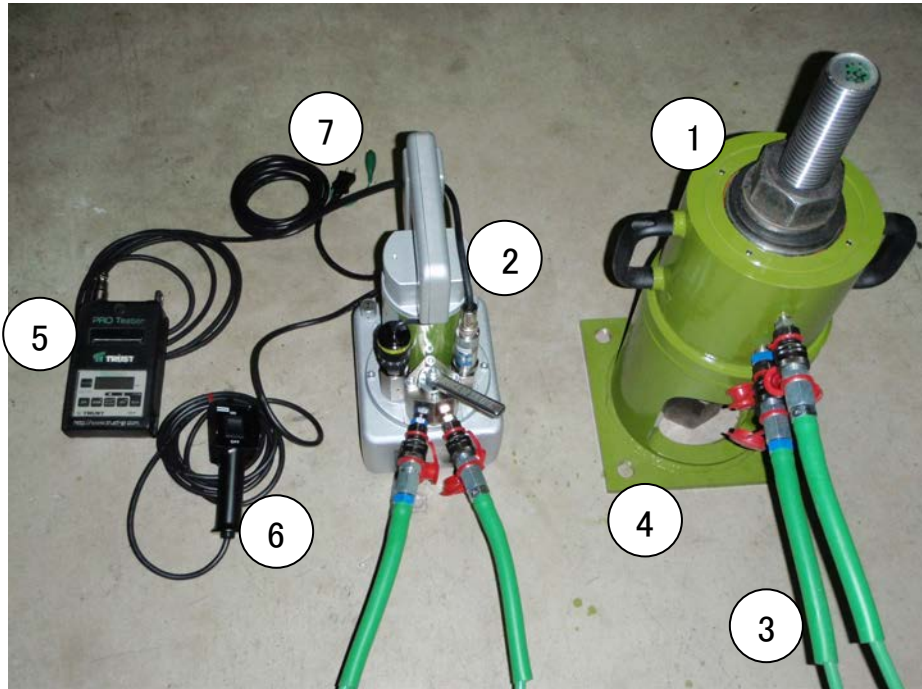
株式会社 トラスト

〒567-0029 大阪府茨木市五日市緑町5番32号
(TEL) 072-621-4164 (FAX) 072-621-4166

目 次

1, 各部名称	P-1
2, 組立手順	P-2~4
3, 操作手順	P-5~10
4, 注意事項	P-11

1, 各部名称



- ① センターホールシリンダー
- ② 小型電動油圧ポンプ
- ③ 油圧ホース 2本
- ④ 反力台(ラムチェア)
- ⑤ デジタルプリンター付表示機
- ⑥ 操作スイッチ
- ⑦ 電源コード 単相100V 12A 50/60Hz

2, 組立手順



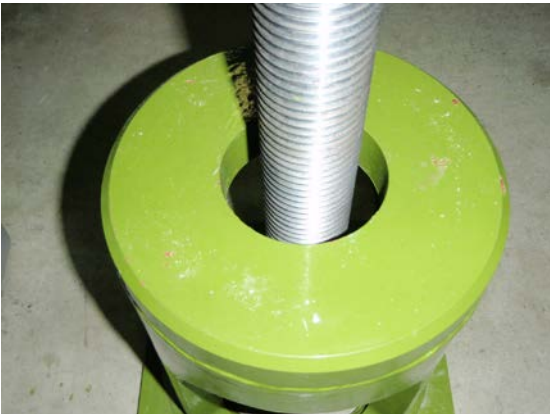
- ① あと施工アンカーが内ネジの場合、
適合サイズのボルトをねじ込みます。

⚠ ※ねじ込みは確実に行ってください。ねじ込みが不
であるとボルト等のねじ山が損傷し、ボルトや機械が
飛び出して事故や怪我を招く恐れがあります。

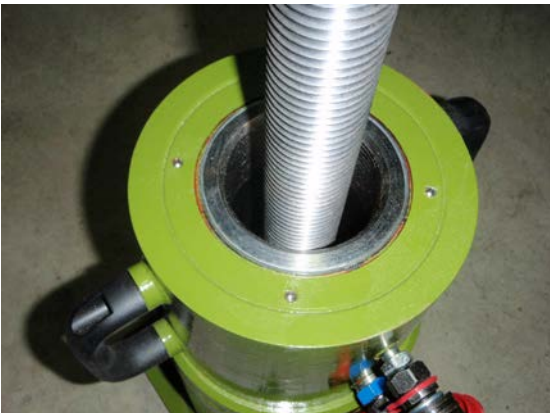


- ② おねじの場合はボルトのネジに適合する
カプラを取り付けセンターシャフトを
ねじ込みます。

※異形鉄筋の場合は③から



- ③ 反力台(ラムチェア)の中心が
ボルトの中心に来るよう設置します。



- ④ センターシャフトにセンターホール
シリンダーを通します。

⚠ ※壁面及び天井向きの場合、落下による怪我や
機械の破損が考えられます。
必ず落下防止措置を講じて下さい。



- ⑤ ボルトサイズに適合するTI-150用座金、センターシャフト用のワッシャーをセットします。

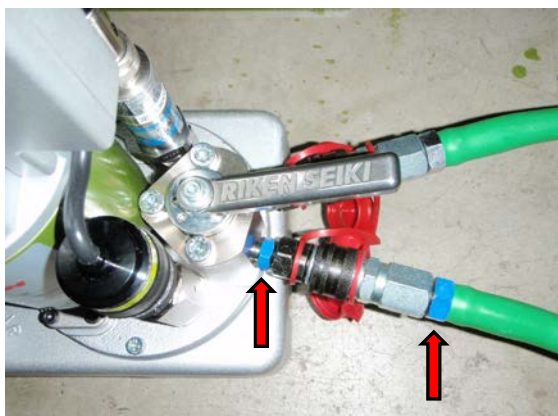


- ⑥ ワッシャー、ナットをセットして、軽く締め付けます。



- ⑦ 油圧ホースのキャップをはずし、センターホールシリンダーと油圧ポンプのカプラにカチッと音がするまで押しはめ込みます。

⚠ ※カプラをしっかりとはめ込んで下さい。
隙間があると油もれや故障の原因になります。



- ⑧ ホースをそれぞれ繋ぎます。
⑦で、センターホール下側に繋いだホースは写真の方向の手前に繋いでください。
※青色の目印を合わせて繋いで下さい。

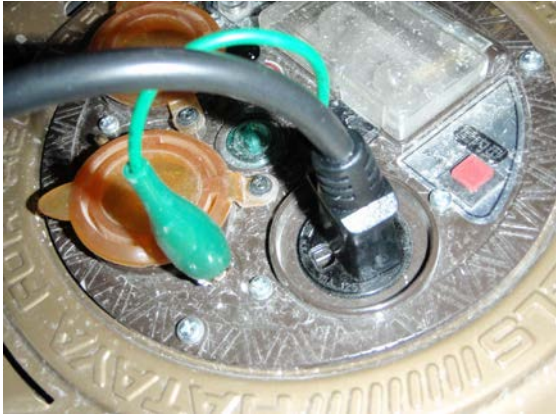


- ⑨ デジタルプリンター付表示機と
圧力変換器に接続ケーブルを
締め付けます。



- ⑩ 組立完了

3, 操作手順



- ① 電動油圧ポンプを電源に繋がします。

単相100V 12A 50/60Hz

定格出力 450W



- ② 電源スイッチを「POWER ON」の位置に合わせます。

※バックライト使用時は「LGT」

の位置に合わせます。



- ③ 電源を入れてから 15秒程度は

認識中の為操作をしないでください。



- ④ 設定値ボタンを押して、荷重値の設定を行います。

※ボタンは少し長めに押します。



- ⑤ 点滅数字を→↑で選択し、荷重設定値を加数で設定します。

※シフトボタンを押しながらの操作で減数します。



- ⑥ 荷重設定入力後、セットボタンを押し、設定を完了します。



- ⑦ 空気弁を1回転程開きます。



- ⑧ 方向制御弁のハンドルを中央位置にします。



⑨ 圧カスイッチを調整します。

荷重値換算表を参考にし、設定荷重値の20%ずつ加圧していきます。

※圧カスイッチは目安です。



⑩ ゼロボタンを押し、ゼロ設定をします。

表示部に---が表示した後、通常表示に戻り、ゼロボタンのランプが点灯します。



⑪ 表示の最大値を保持する時は、ピークホールドボタンを押します。

ピークホールドボタンのランプが点灯します。



⑫ 操作スイッチを『ON』にすると

モーターが起動し、作動油が吐出される状態になります。



⑬ 方向制御弁のハンドルをAポート側に切換えると、昇圧し作業を行います。

圧カスイッチの設定圧力まで昇圧すると、モーターは停止し、圧力は保持されます。

※圧力が20～27MPa降下するとモーターは再起動します。

⚠ 注意: ボルトの先端に顔・体向けない



⑭ 方向制御弁のハンドルを中央位置にしてから圧カスイッチを20%ずつ調整しハンドルをAポート側に切換えて昇圧していき設定荷重まで繰り返します。

※荷重値換算表を参考



⑮ 印字ボタンを押し、測定データをプリントします。

※「Pr」・「PE」が表示される場合や印字が薄い場合は、新しい電池に交換して下さい。



⑯ 作業終了時は、方向制御弁のハンドルをBポート側に切換えて降圧します。

圧力が抜けシリンダピストンは戻ります。



⑰ 操作スイッチを『OFF』にします。



⑱ 空気弁を閉めます。



⑲ 方向制御弁のハンドルを中央位置に
切替えます。

- ・異常が発生した場合は、操作スイッチを『OFF』にして、モーターを停止して下さい。
- ・油圧ホースを外して下さい。
- ・カプラには必ずキャップを付けて下さい。

荷 重 値 換 算 表

シリンダー受圧面積	74.26cm ²
-----------	----------------------

ポンプ設定 (Mpa)	理論荷重値 (kN)	ポンプ設定 (Mpa)	理論荷重値 (kN)
0	0.00	105	779.73
5	37.13	110	816.86
10	74.26	115	853.99
15	111.39	120	891.12
20	148.52	125	928.25
25	185.65	130	965.38
30	222.78	135	1002.51
35	259.91	140	1039.64
40	297.04	145	1076.77
45	334.17	150	1113.90
50	371.30	155	1151.03
55	408.43	160	1188.16
60	445.56	165	1225.29
65	482.69	170	1262.42
70	519.82	175	1299.55
75	556.95	180	1336.68
80	594.08	185	1373.81
85	631.21	190	1410.94
90	668.34	195	1448.07
95	705.47	200	1485.20
100	742.60		

4, 注 意 事 項

- 1, 説明書をよく読み理解してから、ご使用ください。
- 2, 指定用途以外には、使用しないで下さい。 損害、怪我を招く恐れがあります。
- 3, 電動油圧ポンプに、急激なショックを与えないで下さい。 故障の原因となります。
- 4, 油を使用しているため、火気の附近や溶接作業を行っている場所では使用しないで下さい。
- 5, 屋内仕様になっていますので、雨水のかかる所では使用できません。
- 6, 周囲温度は、0～40℃にて使用して下さい。
- 7, 油が目に入った場合は、清浄な水で15分間洗浄し、医師の診断を受けて下さい。
- 8, 油が皮膚に触れた場合は、水と石鹼で十分に洗ってください。
- 9, 油を飲み込んだ場合は、無理に吐かせず、直ちに医師の診断を受けてください。

『引張荷重について』

あと施工アンカー引張試験での引張荷重は、それぞれの現場、または、設計事務所によって多少異なる場合があります。

設定荷重値は設計事務所、または、現場監督に確認した後、引張試験を行って下さい。

本機は非破壊試験機です。母材の破壊やアンカーボルトの破断等のないよう、加える荷重には十分注意してください。